

2014年4月16日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSRビル

代表取締役社長 藤田正雄

TSR - Press Release

国内モバイル M2M 市場は 2018 年に 3,000 万回線に達する見通し

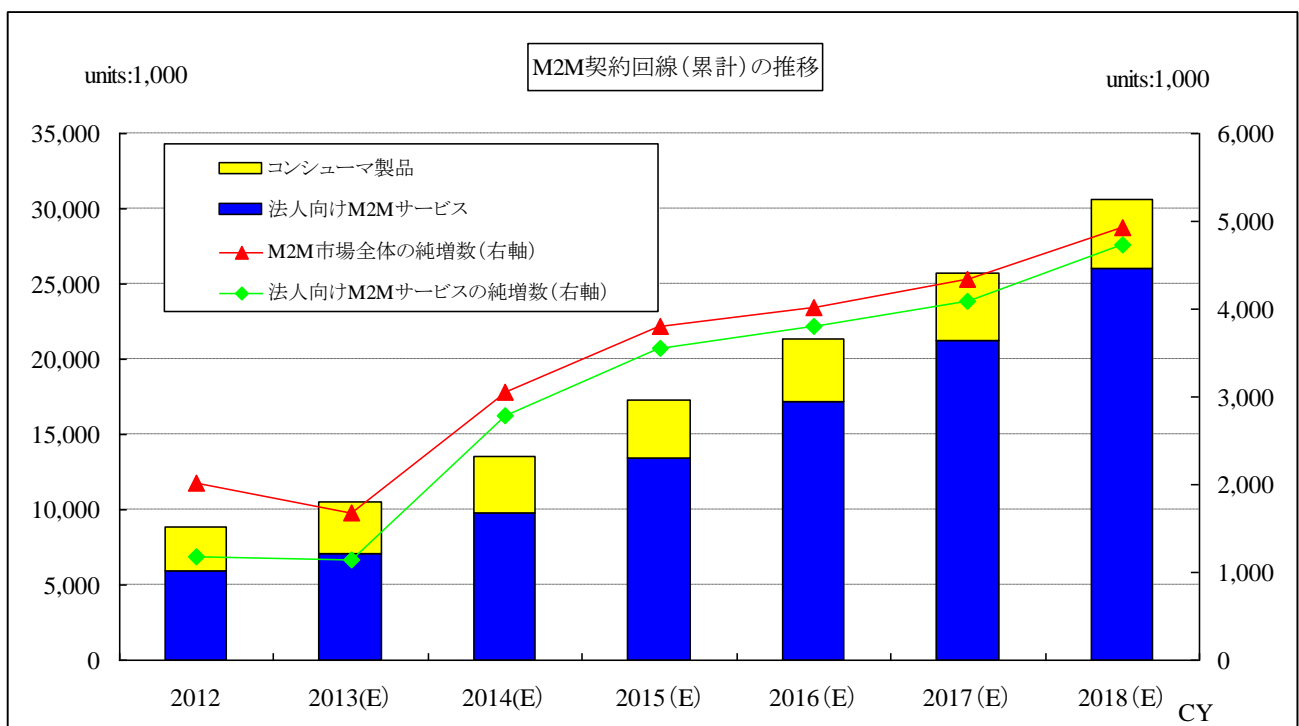
～ インフラ管理、セキュリティ、車載用途の通信などの需要が堅調 ～

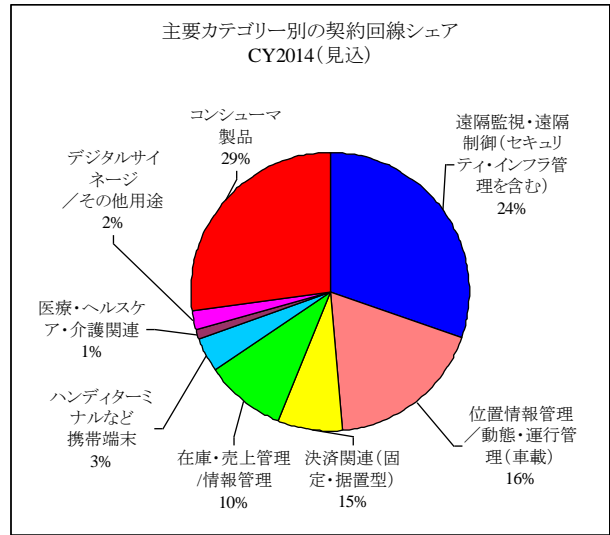
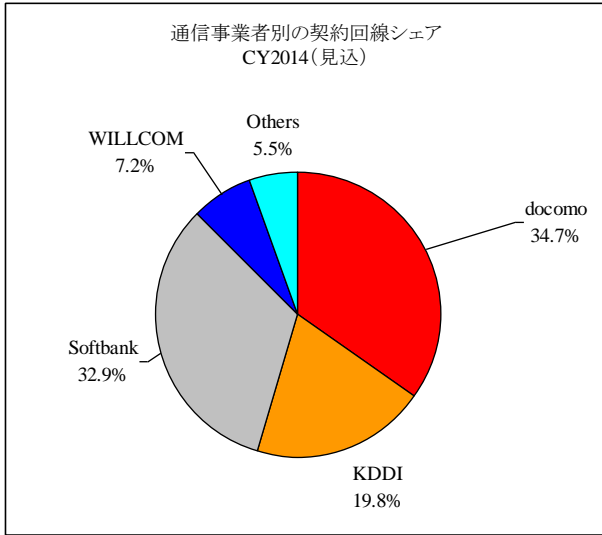
株式会社テクノ・システム・リサーチは、国内における携帯電話や PHS、WiMAX などのモバイル回線を利用した M2M (Machine to Machine) 市場に関する調査報告書『国内モバイル M2M 市場動向調査 (2013 年版)』の「第 1 部 市場動向編」を 3 月末に発刊しました。

2013 年末時点で、M2M サービスで利用されているモバイル回線の契約数は、コンシューマ製品を含めて 1,000 万件の大台に乗った。今後、2016 年中には 2,000 万件台に達し、2018 年中に 3,000 万回線を突破してモバイル回線全体の 15%以上を占める見通しである。

コンシューマ製品を除いた法人向け M2M 市場において、契約回線数が最も多いのが機器の遠隔監視やインフラ管理、セキュリティなどを含めた遠隔監視・遠隔制御の分野であり、法人市場全体の 3 分の 1 以上を占めている。今後はスマートメーターでの利用が進むことや、セキュリティ関連でも監視カメラをはじめとした様々な用途でモバイル回線の利用が増え始めており、2018 年には遠隔監視・遠隔制御は法人向け市場全体で半分近くを占めると予測される。車両の位置情報や動態・運行管理といった車載用途も、大手自動車メーカー各社がカーナビなどのデータ更新にモバイル回線を本格的に利用し始めたことで回線数が伸びてきた。LTE 回線の利用・普及が進むことで車載用途の割合はさらに高まり、2018 年には全体の 3 割近くに達する見通しである。

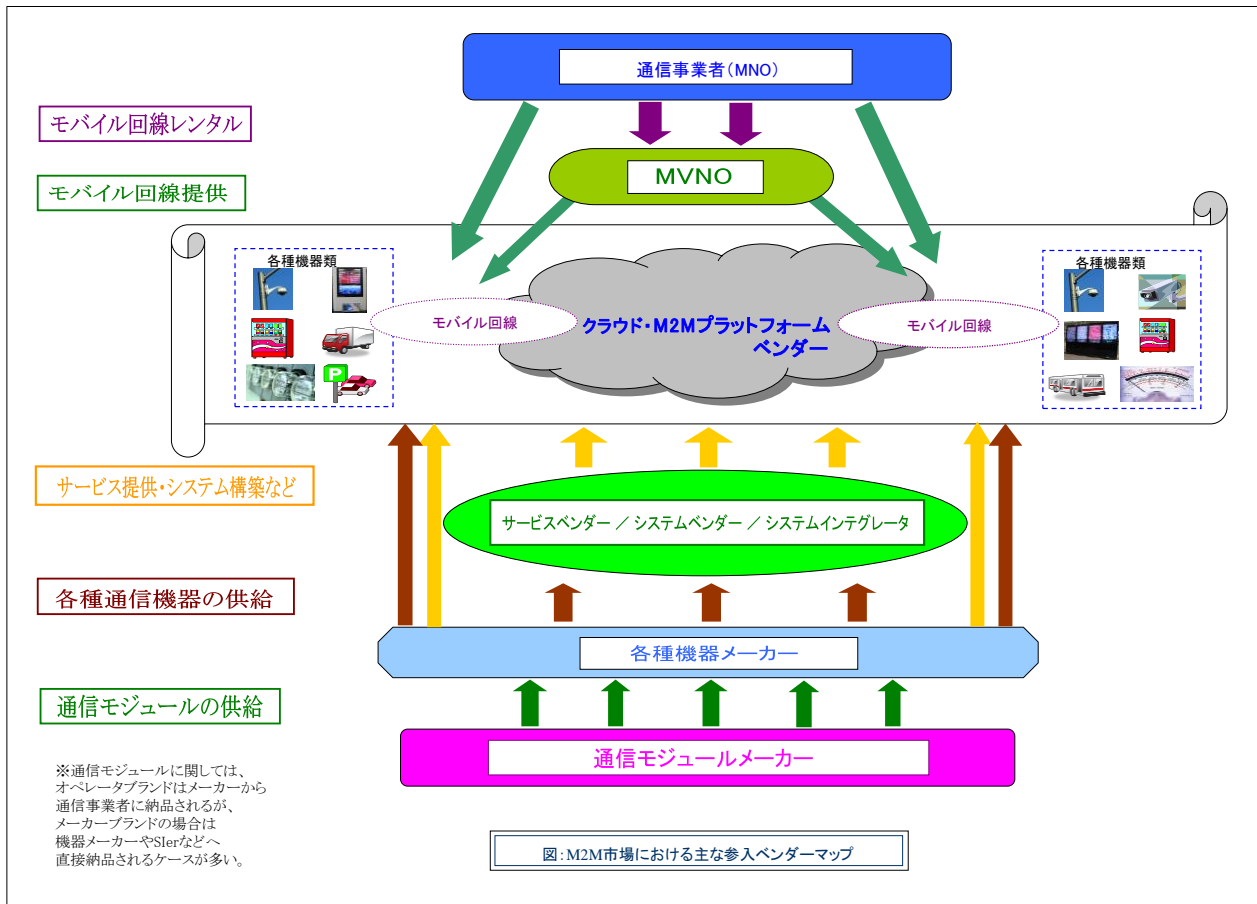
このほか、高成長が期待されるのは介護や見守り用途であり、さらに現在 ISDN 回線で行なっている通信サービスをモバイル回線へ置換える動きが始まっている。





長期的には高成長が期待されるものの、短中期的 (2012年~2014年) にはユーザーもベンダーもビジネスモデルを描き切れておらず、市場成長がやや伸び悩んでいる状況にある。

また、ベンダー動向に関しては、すでに様々なレイヤで各ベンダーが M2M に注目し市場に参入してきている。通信事業者では MNO よりも新興の MVNO が徐々に契約回線を伸ばしてきており、通信機器分野でも新興メーカーがシェアを伸ばしている。



【資料紹介】

『国内モバイル M2M 市場動向調査 (2012年版)』「第1部市場動向編」は M2M 市場について、契約回線数ベースで通信事業者や通信モジュールメーカーをはじめとした市場参入ベンダーの動向のほか、M2M の利用カテゴリーを9つに分けて、各カテゴリーについての概況及び長期的な動向についてまとめております。

【プレスリリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社テクノ・システム・リサーチ 第3グループ 戸波勝徳(tonami@t-s-r.co.jp) TEL:03-3866-4505